

令和 6 年 2 月 13 日

令和 5 年度第 11 回理事会議事録

日 時：令和 6 年 2 月 13 日（水）

第 11 回理事会 18 時 30 分～19 時 40 分

会 場： オンライン会議室（ZOOM 使用）

出席者： 中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、中野理事、工藤理事、鈴木理事、實光理事、
都留理事、千葉監事、安積局長、田箆局長、本田局長、早瀬局長、総務部中平

欠席者： 無し

書 記： 中平

令和 5 年度第 11 回理事会議題

（１）承認事項

ア 令和 5 年度第 10 回理事会議事録

資料参照の上、承認された。

（２）報告事項

ア 各局事業進捗報告

早瀬局長（事務局）より総務部、財務部の進捗状況について資料に基づいて報告があった。

総務部は公文書発行が 23 件、財務部は各部の財務管理等の実施報告があった。次月の予定として、総務部は養成校 22 校に卒業式祝電の準備、財務部は次年度予算案を継続して検討すること等が報告された。

安積局長（情報管理局）より情報管理局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。SM 部はセンターホームページに関してセンター主催研修会の検索ページのリニューアルを進めており、本年度中の完成を予定していること、および研修会・学会の広報について、ニュース編集部は府士会ニュース 302 号の原稿とりまとめ、SE 部は大阪学会のサポートの実施報告があった。中川理事長より、センター主催研修会の次年度の計画について問い合わせが生じているため、担当部局から情報を早急に提供し、現時点の予定で構わないので出来るだけ早急に掲示することが指示された。

田箆局長（生涯学習局）より生涯学習局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。研修事業はセンター主催研修会を 3 件開催、来年度センター主催研修会の企画、1 月 31 日の研修会のキャンセル手続き（5 名）について報告された。研修部は第 6 回研修集会の準備について、ウェビュナーの参加申し込みの準備を進めていることが報告された。中川理事長より、先行してウェビュナーを開催することについて、会員に主旨が正しく伝わるように広告することの重要性が確認された。受託研修部は 2023 年度下半期理学療法士講習会の管理について、臨床認定カリキュラム事業のマニュアル作成を継続することが報告された。学術誌編集部は「総合理学療法学」について論文受理（1 件）、論文査読・審査・修正中（5 件）、掲載不可（1 件）、「総合理学療法学」について早期公開（1 件）が報告された。

本田局長（教育局）より教育局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。学術大会部は第 36 回学会準備委員会議に参加し、進捗の確認と助言を行っていることが報告された。鈴木理事より前回の報告ではロードマップからやや遅れがある状況であったことについて進捗の確認があり、準備作業が進んでおり標準ロードマップに近づいていることが確認された。また第 37 回学会に向けた準備について各局の人事を進める段階にあることが確認された。

臨床実習部は、Advance 受講者のリフレクションシート確認と修了者の決定、修了証発送、

受講者からのアンケート回答整理を進めていること、Master コースの準備、事前打合せを行っていることが報告された。

研修理学教育部は、第 15・16 回後期研修 C 項目が終了、新人症例発表会（北支部、東支部、南支部、中支部）終了、「主催」症例検討会の企画・演者調整の実施、養成校卒前ガイダンス資料作成と提出、令和 6 年度講師バンク制度（後期研修 C 項目）の立案と公開準備が報告された。

イ 第 5 回生涯学習研修集会収支報告の訂正

田箆局長（生涯学習局）より、第 5 回生涯学習研修集会の収支報告書について、資料に基づいて令和 5 年 11 月 22 日付け報告書の支出の部、賃借料 55,360 円の記載を 338,500 円に訂正することの報告があった。大阪国際会議場にキャンセル料 283,140 円の支払いを行ったことが理由との報告があった。

（３）審議事項

ア 養成校卒業証書授与式の列席について

井阪副理事長より大阪府下養成校（23 校）の内、清恵会第二学院より理事長宛てに式典参列の招待があったことを受け、今後養成校からの招待が増えた場合の対応として、可能な限り全ての式典に列席するのが望ましいとの考えが示された。但し、時期的に開催日が集中する可能性が高いため、理事長・副理事長でカバーするには物理的に困難となるため全理事で協力し日程調整を行った上、理事長代理として列席することの提案があった。これについては、2024 年 1 月 17 日に役員 ML にて審議し全員の賛同を得た。本理事会で追認することで承認された。

イ 令和 6 年度事業予算(案)について

井阪副理事長より 2023 年 10 月財務部より各部局に向けて令和 6 年度事業活動に伴う事業計画及び予算の提出を求め、令和 6 年度事業計画(案)を纏めたこと、本予算(案)については事務局会議、担当学会議を経て最終取り纏めたものであることが報告された。積立金については、予算内で定期に行う必要は無いと判断とし、決算の際に定期預金として計上することを検討していることが説明された。本予算(案)は次回 3 月理事会での審議を経て、第 6 回定時総会に諮ることが説明され、継続審議となった。

ウ 研修集会開催に至る進捗表と業務分担について

工藤理事より、第 6 回研修集会の開催に関する進捗表および組織図について、資料基づいて説明された。これまでの研修集会の進捗表が存在しなかったこと、第 6 回を基盤に作成し、今後更新して使用していく目的が説明された。中川理事長より、現行の組織図等はオンライン仕様であることから、不都合や実態に合わない内容が予測されるため、改編していく必要性が高いことが説明された。工藤理事から第 6 回のホームページの企画、デザイン等の作業を開始することの確認があった。實光理事より、第 5 回の進行スピードで作業を行って行くことが困難であるとの見通しが報告され、この点を加味して検討することが確認された。以上の内容を検討の上、承認された。

4 その他

第 11 回日本地域理学療法学会学術大会の広告掲載依頼について

大会長の大垣昌之氏より、標記学術大会の広告を第 6 回学術大会のホームページに掲載の依頼があった。センター学術大会の規定第 3 条に則り検討した結果、大垣氏が兵庫県士会の会員で

あることを理由として掲載は不可と判断した。但し、センターホームページへの掲載は可とし、調整することとなった。